

# カリキュラム

機構施設名： 沖縄職業能力開発促進センター

実施機関名： 株式会社日本能率協会コンサルティング

(A)生産管理	管理手法	製造分野におけるDX推進
---------	------	--------------

コースのねらい	生産現場で用いられる各種製造装置や製造工程の監視・制御にICTやIoTなどのデジタル化を組み込むことにより、製品やサービス、ビジネスモデルの改革(DX)を推進して、生産性向上、ビジネス競争力を獲得する方法を理解する。
---------	--

講義内容	「基本項目」	「主な内容」	訓練時間(H)
講義内容	1 製造業におけるDXの理解	(1)DXとは DXの定義やその捉え方について、身近な事例を通して、わかりやすく解説する。 実際にDXを推進する企業が押さえておくべきポイントにフォーカスし、知っておくべき知識を整理する。 (2)製造業におけるDX 製造業において、DXが何を解決できるのかを解説し、自社の現状レベルを演習を通して理解する。 <b>【演習】自社のデジタル化レベル診断</b> (3)DX推進に必要なデジタル技術 製造業におけるDXを実現するために必要となる代表的なデジタル技術について概説する。	1.5
	2 DX実現事例	(1)デジタルツールを活用した現場改善事例 製造現場における、いろいろな課題解決について、デジタルツールを活用した各社の取り組み事例を紹介する。 (2)スマートファクトリー実現事例 工場の様々なデータをデジタルデータとして収集・蓄積し、それを分析し、最適化を行っている各社の取り組み事例を紹介する。 (3)スマートプロダクト、スマートサービス事例 デジタル技術を活用して、単に製品を供給・販売するだけでなく、新たなサービスや、製品自体に新しい価値を付加した事例を紹介する。	1.5
	3 DX推進の目標設定と解決策	(1)DX推進企画 現状と目指す目標を明確にすることで、自社で何を行うか、どのようなDX推進企画を描くかを学ぶ。自社においてデジタル化で何を解決するのかを演習を通して明確にし、DX推進につなげる。 <b>【演習】自社の課題抽出と解決方向の検討</b> (2)現場DX推進に役立つデジタルソリューション 日進月歩で進化するデジタルソリューションから自社にフィットするものをどのように取捨選択するのか。 現場DX推進に役立つデジタルツールを「IoT7つ」道具を通して紹介する。 <b>【演習】IoT7つ道具活用チェックリストを使ったソリューション選定</b>	2.0
	4 DX推進の計画と実行	(1)DX実現のステップと壁 DX戦略を推進するための6つのステップと、その際に立ちはだかる3つの壁について解説する。 <b>【演習】DX推進課題の整理</b> (2)DX推進人材と人材要件 DXの推進はどのような体制で、誰が行うのか、その人材に必要な要件は何かを、企業の規模やタイプ別に解説する。 (3)DX人材育成 DX人材育成の課題、人材育成のフレームワーク等について理解する。 各社のDX人材カリキュラムや人材育成事例について紹介する。	1.0
合計時間			6.0

カリキュラム作成のポイント	製造業に携わる方々が、DXやスマートファクトリーについてその考え方や事例を学ぶ。 自社のデジタル化レベルの把握、DXで解決すべき課題の把握、DX課題の解決策検討等を演習を通して体感する。 これらの知識の習得と演習により、自社におけるDXの推進に役立てる。 なお、本カリキュラムでは、IoT機器やPLCからのデータ取得とその活用についてのプログラム作成技術、AI活用のためのプロンプト等についての専門技術に関する講義は行わない。
---------------	--